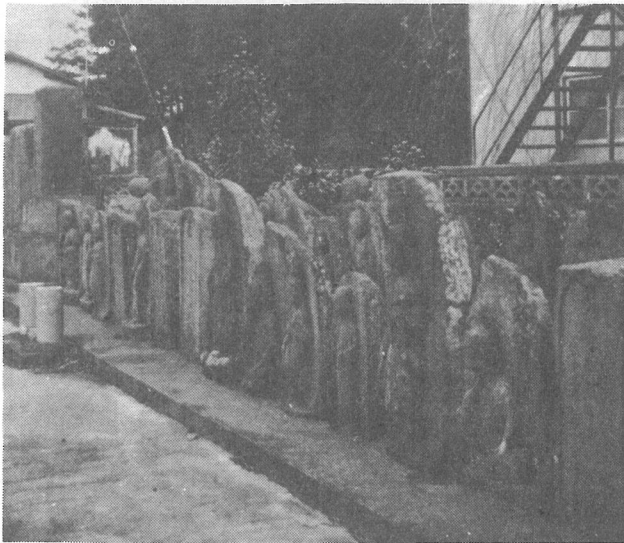


### 横芝の碑(その十九)

## へ或信心家の奇篤な行為へ

国道一二六号線本町交差点附近の旧道を右に曲って両国新田及於幾の方面に向い、三百メートル程進みますと、東部耕地整理組合の用水路と直角に交ります。この橋を渡ってすぐに右折し、流れに従って三十メートル位下りますと右手にまた橋が架っています。この橋を渡って更に十五メートル程進みますと右側にブロック塀に囲まれて、墓石、石仏、碑等が群立しているのに気がつきませす。墓石が建っているのに全く陰気さがなく、むしろ和やかな明るさを感じられます。それもその筈で、此々は墓地でもなく、又寺院跡でもないのです。それぞれの石に刻まれている文字も鈴木、伊藤、吉田、実川と多種多様で、年号も宝永あり、元禄あり、享保あり、正徳ありといった具合でこれも千差万別です。中には、まだ栗山川に渡場があった頃に伊勢参り等の入々が建てたという道標や、本紙四一年九月号所載の「サイカチの木」で紹介したことのある古川の地蔵様の由来を刻んだ碑等も建っています。

すでにお気づきの方もあると思

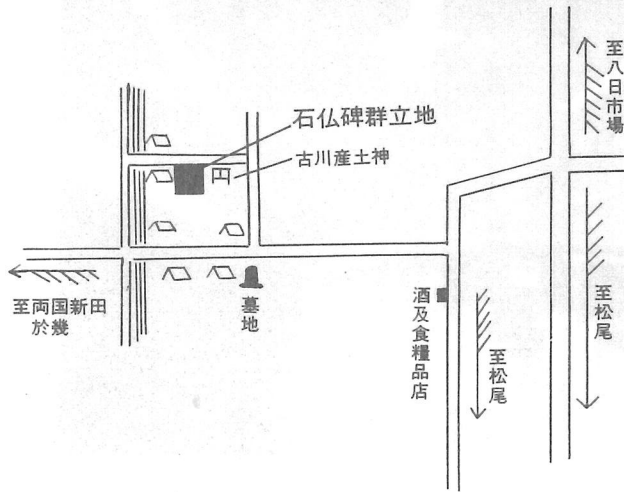


いますが、この石仏や碑を集めたのは、古川の地蔵さんと呼ばれている鈴木昇さんの奇篤な行為によるものです。鈴木さんの先祖は名主様でしたが、市原郡から勧請したお地蔵尊の霊験から代々信心家が多く、特にこの鈴木昇さんは、古川を中心にして、隈なく歩き、道端に埋れかかったり、山の中に倒れたままになっていたたりした石仏、墓石、碑等をこの自分の所有

地に安置して、毎年紀りを怠らないということですが、

写真は、群立する石仏や墓石の一部で、この反面する方向に古川の地蔵様霊験記を刻んだ碑等が建っています。最近不心得者が庭に飾ろうとして、或夜中ここから石仏を持ち出そうとしたところ、入口まで軽く運べた石仏が急に重くなったので、驚いて元の所へ戻しましたが、それから三日位熱が出て起きられなかった、ということですが、これはきつと寒い夜中に冷たい石仏を抱えたりしたので汗をかいて風邪でもひいたのでしよう。

(養護老人ホーム小沢所長寄稿)



### 5 月予防接種予定

実施日	場 所	種 別	該 当 者
8	横 芝 町 役 場	ポリオ生ワク	S.48.7.1 ~ S.48.12.31
9	大 総 小	破 傷 風	
10	横 中	日 本 脳 炎	全生徒
14	横 小	"	全児童
15	上 小	"	"
16	大 小	"	"
17	横芝第1・2保育所	"	保育園児
21	フタバ保育園	"	"
22	横 芝 町 役 場	"	一 般
23	上界公民館又は小学校	"	一般・保育園児
24	大総保育所又は小学校	"	一般・保育園児
29	横 芝 町 役 場	"	一 般
30	上界公民館又は小学校	"	一般・保育園児
31	大総保育所又は小学校	"	一般・保育園児

**お詫び**

四九年四月一日町発行の広報紙第四面中選挙の投票所増設記事の中で第四投票所投票区のうち仲和会と四六会の掲載を落とししましたので本紙で訂正し謹んでお詫びいたします。

広報係

